

令和3年度大分県医療費適正化推進協議会	【資料2】
令和4年2月24日(木)15:30~16:50	

生活習慣病の発症・重症化予防の 推進について

令和3年度 データヘルス推進事業

国保医療課

現状

- 県民医療費が増加
 - ▼ 11年間で1.2倍、734億円増（H17:3,822億円 → H29:4,641億円）
 - 特に75歳以上の一人当たり医療費が高い
 - ▼ 県平均の2.61倍（県平均:403千円、75歳以上平均:1,046千円）
- 「団塊の世代」が全て75歳以上となる2025年に向けて
県民医療費は引き続き上昇することが予想されている。
- 医療費の3割は糖尿病性腎症などの生活習慣病が占める
 - ▼ 重症化による人工透析では年間約500万円の医療費が必要
（国保の場合→国92万円、県95万円、保険料69万円、被用者保険支援金等126万円）

課題

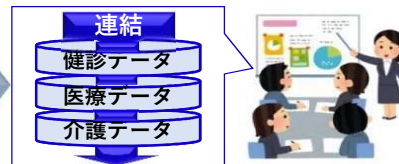
- 第2期データヘルス計画(H30～35)に基づき国保保険者として取組を実施
※働き盛りから後期高齢者に至るまでの生涯にわたる分析結果
- ▼特定健診未受診者………40～50代(中年期)の受診率が顕著に低い
発症・重症化後に医療機関を受診+健診受診者に比べて医療費が高い傾向
 - ▼医療費の高額・疾病の重症度……医療機関のみ>医療+特定健診+保健指導
 - ▼就労中(社保)から疾病を発症……退職後国保に加入時点で、すでに重症化
 - ▼国保・社保時代に未関与の加入者……後期高齢者医療加入後に重症化し、治療開始
医療費も高額な例が多数
 - ▼重複多剤投与が散見される薬剤……眠剤・向精神薬・胃腸薬 等

データヘルス推進によるさらなる取組が必要

※データヘルス:保険者が健診・医療データ等の分析により健康課題を可視化し、保健事業を効果的・効率的に実施

保健・医療・介護データを連結・分析し、さらに効果的なデータヘルスを実施

- 国 → 令和3年度からマイナンバーカードによる医療・保健・介護データの閲覧システムを構築
- 大分県 → 平成30年度からデータを連結した分析を先行的に実施し、取組課題が明確化（県レベルで初）
- 分析結果に基づく、生活習慣病発症・重症化予防に向けたPDCAによる個別支援体制の強化・検証等の進捗管理が必要



1. 分析結果・取組課題に基づく施策の展開・個別支援の強化

- 1) 保健・医療・介護データ連結による分析（拡充）
 - 専門家を交えたデータ連結分析検討会の開催と実践（※）
- 2) PDCAサイクルに基づくデータヘルスの推進（拡充）
 - 保健・医療・介護データの分析結果に基づく特定健診等の受診勧奨に向けた普及啓発の徹底（各種広報媒体の活用）
 - 第3期データヘルス計画策定を踏まえたデータヘルス推進（実践・研修）
 - 保健所の分析体制強化による市町村支援の拡充
- 3) 服薬適正化によるポリファーマシー対策の推進(医療費適正化)（拡充）
 - レセプトデータ分析に基づく、重複多剤服薬の是正による医薬品の適正使用に向けた個別指導（※）
- 4) データヘルス推進・医療費適正化に向けた基盤体制の整備（継続）
 - 医療、保健、福祉、学識経験者からなる協議会より助言を得てデータヘルスを推進
 - 生活習慣病重症化予防に向けた医療と保険者の連携による個別支援の強化に係る検討

2. 生活習慣病予防・早期発見・治療に向けた特定健診・がん検診等受診率の向上

- 1) 特定健診等受診率向上及び生活習慣病重症化予防に向けた未治療者・治療中断者の適切・確実な受診のための体制整備（拡充）
 - ハイリスク者を早期に抽出し支援につなげるため治療中の検査データを特定健診とみなすための体制づくり（※）
 - 特定健診・がん検診等未受診者の要因や受診パターン等の分析、各種健診のセット受診促進による対象者の行動特性を踏まえた受診体制づくり（※）
 - 生活習慣病（高血圧・高脂血症・虚血性心疾患・脳血管疾患）未受診者・治療中断者の受診勧奨強化（※）

3. 生活習慣病重症化予防による健康寿命の延伸と医療費の適正化

- 1) 生活習慣病重症化予防体制整備（拡充）
 - 保健指導充実強化抽出ツール、オンライン面接の活用による迅速・適切・効果的な保健指導を行う体制強化（実践及び県内健診機関等職員の人材育成）
 - 生活習慣病重症化予防に向けた国保加入者への普及啓発の徹底（TV、雑誌、バス、JR、SNS等、公共広告等の効果的な活用による戦略的な啓発実施）

健康寿命の延伸



先を見据えた
生活習慣改善の徹底

経済的負担の軽減
本人・保険者双方のメリツ

注：（※）はモデル市町村の選定により取組を推進し、他市町村への横展開を実施

生活習慣病の発症・重症化予防の推進【特定健康診査の推進①】

令和3年度 大分県データヘルス推進事業

(1) 医療機関と連携した特定健診受診率向上に向けた取組

事業名：特定健康診査に係る診療情報提供体制整備【R1～継続】

内容：生活習慣病の重症化リスクが高い者へ必要な支援を行うため、医療機関における治療中の検査データを特定健診結果として取得する（みなし健診）ための体制を整備する

モデル事業として民間企業に委託し効果的な取組を横展開（R3モデル：豊後大野市）

- ①健診未受診で医療機関が検査データを保有する者を健診・医療レセプトデータ分析により抽出
- ②医療機関からのデータ取得に関する関係医師会等との協議・調整
- ③検査データ受領に係る本人の同意取得（又は、健診受診勧奨）のための勧奨通知

評価：これまでにモデル7自治体で実施、医療機関と連携した効果的な取組を各市町村で展開
 検査データ取得にあたっては更なる効率化が必要
 健診未受診者の約7割弱は生活習慣病で通院中であり、生活習慣病重症化ハイリスク者への早期支援を行うため、引き続き、各地域の医師会・医療機関と連携した取組が必要

特定健診 未受診の方へ

**特定健診受診
もしくは
検査結果の情報提供に
ご協力ください**

※このご案内は、12月時点で特定健診の受診が把握できていない方にお送りしています。既に受診済み・申込みの方はご返却ください。

ご不明点があれば下記にお電話ください

豊後大野市役所 市民生活課 国保年金係
電話：0974-22-1001

特定健診受診もしくは情報提供の流れ

STEP 1

次回通院時に本通知を持参する
(中面に記載の医療機関が対象です)

STEP 2

特定健診を受診する場合

医療機関の受付にて
ご都合のいい日時で
お申し込みください。

受診日: 月日

STEP 2

情報提供を実施する場合

中面の
同意欄に署名し
医療機関の受付で
本通知を
お渡しください。

このご案内は特定健診の検査結果が揃っていると
思われる方に送付しております

豊後大野市

豊後大野市役所 市民生活課 国保年金係
7878-7198 豊後大野市三里町市場1200番地 電話:0974-22-1001

情報提供にご協力いただける場合、
こちらにご署名をお願いします。

【お問い合わせ先】
市役所 市民生活課 国保年金係
☎0974-22-1001

皆様へのご理解とご協力、
どうぞよろしくお願ひいたします。

医師である私からも
年に1回の特定健診の
受診を推奨します。



詳細は裏面をご確認ください。
40～74歳の国民健康保険に加入している方が対象です。

市の補助で通常約8,000円の健診が
無料で受診可能です

豊後大野市医師会 豊後大野市役所 市民生活課 国保年金係

の特定健診

1年に1回の受診を推奨します。
12月28日(月)まで
1日を休めてください。

※も健診を実施しております。
7月健診は別途料金がかかります)
当健診を受ける場合)

3(土)・2月6日(日)
市役所1階 受付時間 8:15～10:30

☎0974-22-1001
市民生活課 国保年金係

2月4日(金)まで

※特定健診を受ける場合)

時 分

※健診料がかかります) ①保険証 ②受診券
に市民生活課 国保年金係(☎0974-22-1001)へ

かな時間で終わります。
= 約 1 時間 *

※特約が適用される場合があります。

血糖検査と尿検査を中心とした健診
です。糖尿病、高血圧症をはじめとする、
やがてで発症し得る病気の高リスク
状態を詳しく調べます。

1人で受けると約8,000円かかる健診を、国保で受けられ
ます。特定健診(国保)は無料です。国保が健診料の全額を支
払います。

加入している方が対象です。

生活習慣病の発症・重症化予防の推進【特定健康診査の推進②】

令和3年度 大分県データヘルス推進事業

(2) 特定健診未受診者への効果的な受診勧奨の取組

事業名：健診等未受診者勧奨事業【R2～継続】

内容：特定健診・がん検診データの分析結果に基づき、過去の受診行動や年代に応じた受診勧奨や健診情報の提供を行う。

モデル事業として民間企業に委託し、効果的な取組を横展開（R3モデル：豊後大野市）

①健診・がん検診データ分析から未受診者分類し受診勧奨対象者を抽出

②ナッジを活用した効果的な勧奨資材や健診情報紹介WEBサイトを活用した受診勧奨通知

評価：これまでにモデル3自治体で実施

対象者の特徴に応じた効果的な勧奨がポイントであり、民間企業のAI分析による対象者抽出が効果的モデル事業で得たノウハウを活用し、各市町村で効率的に実施できる体制の検討が必要

料金別納郵便

豊後大野市の特定健診・がん検診
今年度最後のお知らせ

各会場・健診機関では新型コロナウイルス感染症対策を徹底しております。国が定めた年に一度の健康診断です。忘れずに受診してください。

※以下に該当する方は受診をお控えください。

- 風邪の症状や37.5℃以上の発熱がある方
- 2週間以内に、新型コロナウイルス感染症の患者またはその疑いのある患者との接触歴がある方
- 2週間以内に、海外への移動歴がある方

豊後大野市役所 市民生活課 国保年金係
〒879-7198 豊後大野市三重町市場1200番地 電話：0974-22-1001

特定健診の詳細は中面をご覧ください

特定健診・がん検診受診までの流れ

医療機関健診・人間ドックでの受診
中面をご覧ください。ご予約ください。

集団健診
【申込期間】受診希望日の前日まで（土日祝日除く）
集団健診ではがん検診も同時に受診可能です。お申し込みはお早めに。

Step 1 日程を選ぶ

会場	日程
豊後大野市役所 1階	2月 5日(土)
	2月 6日(日)

(受付時間 8:15～10:30)

Step 2 電話で申し込む

豊後大野市役所 市民生活課 ☎0974-22-1001
(平日 8:30～17:00)

【当日の持ち物】
健診費用：無料
(がん検診は別途費用がかかります。)
①保険証 ②受診券

※受診券がお手元ない場合は、事前に豊後大野市役所 市民生活課 国保年金係 (☎0974-22-1001)へお問い合わせください。
※このご案内は、今年度特定健診未受診の方へお送りしています。行き違いの場合はご容赦ください。

医療機関健診・人間ドックの詳細は中面へ

豊後大野市の特定健診

検査時間は？

かかる時間 = 約 **1** 時間*

血液検査 血圧測定 尿検査 身体測定 問診・診察

血液検査と尿検査を中心とした健診です。糖尿病、高血圧症をはじめとする、やっかいで長引く病気の兆候・リスクを詳しく調べます。
※混雑状況等により、健診にかかる時間が前後する場合があります。

健診費用は？

かかる費用 = **0** 円*

糖尿病・脂質異常症・腎臓病・肝臓病・その他の病気

個人で受けると約8,000円かかる検査を、無料で受けられます。国民健康保険加入者の健診費用の全額を、自治体が補助します。
※特定健診の費用となります。

特定健診の詳細については
右記二次元コードよりご覧ください。



同時に受診可能ながん検診

受けられる検診の種類は？

それぞれの検査により
がんのリスクをまとめて発見します



- 肺がん：400円
問診・胸部X線検査
- 胃がん：1,400円
問診・X線透視検査
- 大腸がん：400円
問診・便潜血検査(2日法)
- 前立腺がん：450円
血液検査(PSA値)
※55歳以上の方

これらの検査を
1日でまとめて受けられます

各種検査は、負担がかけられないように効率よく行います。
※上記は集団健診で受診可能な検査です。医療機関では受けられる検査が異なります。詳しくは予約時にお問い合わせください。

生活習慣病の発症・重症化予防の推進【特定健康診査の推進③】

令和3年度 大分県データヘルス推進事業

(3) 事業者健診結果の取得の取組

内容：働き盛り世代である中年期へ早期に支援を行うため、労働安全衛生法に基づき事業者が実施する健康診断（事業者健診）の結果を取得する体制を整備する

①本人の申出による受理又は事業所の協力を得て受理

②本人同意を得て健診機関や医療機関から受理

(4) 特定健診個別健診集合契約【H30～継続】

内容：県医師会（受託医療機関）との集合契約により、対象者が居住地以外の受託医療機関でも特定健診を受診できる体制を整備する

R3.4現在契約：462医療機関

(5) 大分県保険者協議会を通じた各医療保険者の連携による取組

各保険者での効果的な取組や課題を共有し、共通課題に対して連携した取組を実施する

※平成30年度から県が保険者協議会事務局（国保連合会から移管）

構成：健康保険組合連合会大分連合代表、全国健康保険協会大分支部代表

市町村国民健康保険代表、国民健康保険組合代表、共催組合代表、後期高齢者広域連合代表

国民健康保険団体連合会代表、医師会代表

(6) 新型コロナウイルス感染症への対応

内容：対象者が安心して健診を受診できる環境を整備する

感染防止対策の徹底、完全予約制や地区割等での人数制限、大規模会場のみでの実施

感染拡大状況に応じて受診勧奨

評価：感染拡大防止に配慮した対策を講じているが、感染の不安からの受診控えで受診率は低迷している
医療機関での個別健診はワクチン接種のため影響が出る地域があった
一方で予約制導入による混雑緩和に対する好反応もあり、実施体制の充実につながった
連続未受診等が受診行動にも影響するため、まずは感染拡大前の受診率に戻す必要がある

生活習慣病の発症・重症化予防の推進【特定保健指導の推進①】

令和3年度 大分県データヘルス推進事業

(1) 特定保健指導等従事者研修会

目的：保健指導従事者の資質の向上、保健指導実施体制の充実を図る

内容：①第1回特定保健指導従事者研修会（生活習慣病重症化予防研修会）

令和3年12月16日（木） オンライン研修

- ・講義1「特定健診・特定保健指導の基本的な考え方」
- ・行政説明「大分県の健康課題の現状」
- ・講義2「生活習慣改善に向けた保健指導 ～初任者向け 効果的な食生活改善指導のポイント～」
- ・講義3「循環器病予防のための保健指導
～定健診結果の評価と保健指導従事者が知っておくべきポイント～」

②第2回特定保健指導従事者研修会（保健指導充実強化研修会）

令和4年2月2日（水） オンライン研修

- ・テーマ「情報通信技術を活用した効果的な保健指導について」
- ・行政説明「大分県の保健指導の実施状況」
- ・講義「特定保健指導及び生活習慣病重症化予防の指導における情報通信技術の効果的な活用」

(2) 情報通信技術を活用した保健指導の実施

事業名：生活習慣病重症化予防個別指導強化事業【R3新規】

内容：生活習慣病重症化リスクが高いハイリスク者に対してICTを活用した個別指導を行う
モデル事業として民間企業に委託して実施（R3モデル自治体：竹田市）

- ①民間企業が保有するアプリと連携した約4ヵ月の保健指導
- ②ウェアラブル端末や塩分測定器によるモニタリング
- ③保健指導実施者とかかりつけ医及び保険者との指導レポートの共有による継続支援

評価：新型コロナ感染拡大により対面での保健指導を見直す自治体もあった。

情報通信技術を活用した保健指導の実施に向けては、保健指導従事者がその利点や欠点等を理解した上で活用できるようにするとともに、県内で活用できる体制の整備が必要がある。

生活習慣病の発症・重症化予防の推進【生活習慣病重症化予防の推進①】

令和3年度 大分県データヘルス推進事業

(1) 生活習慣病の治療中断者等を医療機関への適切な受診につなげるための取組

事業名：生活習慣病未治療者等分析・受診勧奨事業【R3新規】

目的：生活習慣病の重症化リスクがあるが受診していない者や治療を中断している対象者に対して、医療機関への受診を勧奨し、適切な受診行動につなげる

内容：モデル事業として民間企業に委託し効果的な取組を横展開（R3モデル：大分市、国東市）

- ①データ分析による未治療者及び治療中断者の抽出
- ②関係医師会への協力依頼
- ③適切な受診行動を促す効果的な資材による受診勧奨、受診意向の把握による支援

評価：民間企業によるレセプト分析により治療中断者を効率的に抽出（効果検証は3月予定）
今年度の検証結果をふまえ更に効果的に取組を横展開できるようモデル自治体での取組を継続する

治療状況の確認のお願い

あなたの医療データを確認したところ、下記の生活習慣病の治療が6か月以上継続されていないことが分かりました。医師の指示でなく、自己判断による治療中断は重症な疾患の原因にもなるため、早めにかかりつけ医またはお近くの医療機関に受診し、治療の必要性を判断してもらいましょう。

疾患名	治療中断の疑い 該当有無	最後の治療年月
糖尿病		
高血圧症		
脂質異常症		


この表は2016年9月～2021年9月の大分市国保の医療情報を基に作成しています。

診察医 殿
本事業は、健康寿命延伸に資することを目的とし、生活習慣病重症化のハイリスク者に受診勧奨をしております。事業対象者様が受診の際は、何卒ご理解・ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

生活習慣病の自覚症状が出たときには治療費負担が大きくなります。ぜひ、医師へお早めにご相談ください。

血糖値や脂質、血圧の値が高くなると、血液の通り道はせまくなり気づかぬうちに血管にダメージを与えます。自覚症状が出る頃には、今よりも高い治療費とつらい症状があなたを待っています。

重症化した場合の主な病名



医療機関受診までの流れ

- 1 本通知物にあるアンケート回答・返送
- 2 医療機関への受診日を決める
- 3 医療機関へ予約または受診する

持ち物：①保険証 ②本通知または最新の健診結果

治療状況の確認のお願い

過去の医療データから下記の生活習慣病の治療後の治療から6ヶ月以上間隔があいている方へのご自身の判断で治療を中断されている場合は、再度医療機関を受診し、治療が必要でないかしましょう。

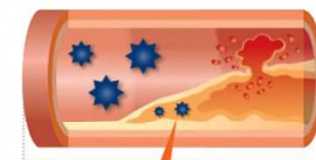
治療中断の疑い 該当有無	最後の治療年月

令和3年12月
大分市役所 国保年金課 給付担当 班

※おこなっている場合や、他の理由で治療継続していない方にもご案内をご了承ください。

生活習慣病は重症化すると、負担が大きくなります。

血糖値や脂質、血圧の値が高くなると、血液の通り道はせまくなり気づかぬうちに血管にダメージを与えます。自覚症状が出る頃には、今よりも高い治療費とつらい症状があなたを待っています。



危険因子により、血管の内側にアテロームが蓄積し、血管が狭くなる。コレステロール蓄積とアテロームにより、血管壁が硬くなり、血管が詰まる。

医療機関受診までの流れ

- 1 医療機関へ行く日を決める
- 2 医療機関へ予約または受診する

【当日の持ち物】
●保険証
●本通知または最新の健診結果

令和3年度 糖尿病性腎症重症化予防推進事業

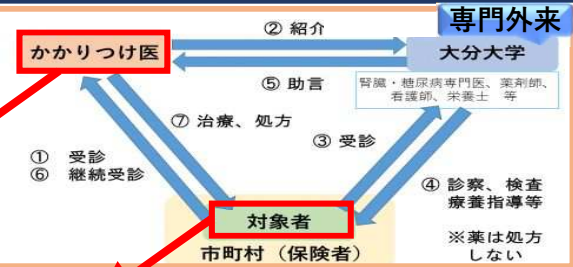
国保医療課

現状

医療費の3割は糖尿病性腎症などの生活習慣病が占める
 ・人工透析の医療費:年間約500万円、透析患者数:H30 3,546人/100万人(全国ワースト5)

R2取組

「かかりつけ医と専門医」「医療機関と市町村(保険者)」の連携促進
 ・大分大学病院に「糖尿病性腎症重症化予防専門外来」を開設
 かかりつけ医や市町村への支援等の重症化予防ステーションとしても機能
 ・各市町村での「個別支援検討会」で患者ごとの治療方針を関係者で検討

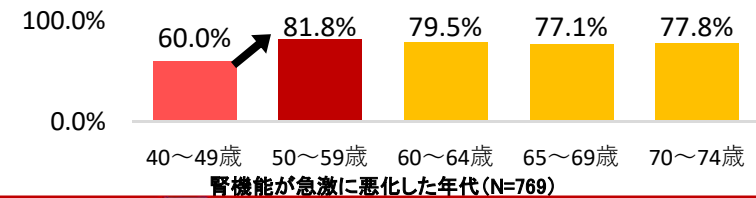


R3に向けての課題

課題① かかりつけ医での腎機能検査と治療の実施及び専門医との連携

- ・患者の多くが糖尿病の有症状部位(眼科・皮膚科・内科等)で受診・治療
- ・専門外のかかりつけ医でも、腎機能に着目した検査や治療の実施が必要
- ・「遠くでも専門医に受診や相談ができるよう、専門医とオンラインでつないでほしい。」とのかかりつけ医の声

課題② 腎機能が急激に悪化する50代の受診等の徹底



R3取組

1. かかりつけ医での適切な腎症治療に向けた環境整備

- ① 「かかりつけ医研修会」の開催
 - ・糖尿病治療における腎機能検査の必要性や専門治療の教示
- ② 専門医に適切に患者を紹介する仕組みづくり
 - ◎ 専門外来の継続とステーション機能の強化
 - ・患者の受診に関わらず、かかりつけ医等からの相談対応充実
 - ・専門医とかかりつけ医との治療計画書の共有徹底
 - ・遠隔地等の患者・かかりつけ医の診療補助として、専門医とのオンラインでの情報共有体制の整備
 - ◎ 専門医への患者紹介ガイドの作成
 - ・かかりつけ医での腎機能検査・治療の指針
 - ・専門医への紹介の基準、手続き等の提示
 - ◎ 各市町村での個別支援検討会の定例化の徹底
 - ・定例化によりハイリスク対象者を確実に専門医に紹介
 - ◎ 糖尿病性腎症重症化予防推進効果検討会議の開催
 - ・市町村等の個別支援の取組・成果を専門医等が検証

2. 重症化リスクの高い50代前後の中年期へのアプローチ強化

- ① 治療中断・未受診者への受診勧奨の強化
 - ・新たに中年期に特化し、市町村等が行う受診勧奨の支援
 - ナッジ理論の活用: ハガキ・ポスター等
 - 寄り添い型の勧奨: 家庭訪問・電話・メール等
- ② 生活習慣改善を目指した中年期への保健指導の徹底
 - ◎ 患者、家族、地域の各レベルに応じた取組強化の支援
 - ア) 市町村での健康教室等の拡充(検査・実技等)
 - ・簡易な尿検査による腎機能の把握と保健指導への活用
 - イ) オンラインによる重症化予防保健指導の実施
 - ・働き盛り世代が対応可能な時間・方法での保健指導の開始
 - ・オンライン面接による保健指導充実強化研修会の開催
 - ◎ 行動変容を促す普及啓発の強化
 - ・中年期向けにSNSを活用した反復による普及啓発の強化
 - ・大分大学等と連携した各地域・職域への出前講座の実施



新規人工透析の導入回避
 →健康寿命延伸と医療費適正化

生活習慣病の発症・重症化予防の推進【糖尿病性腎症重症化予防の推進②】

令和3年度 大分県糖尿病性腎症重症化予防推進事業

(1) かかりつけ医、専門医・専門外来、保険者の連携強化に向けた取組

①「大分大学附属病院糖尿病性腎症重症化予防専門外来（R2.5月開設）」の機能の強化

【専門外来の機能】

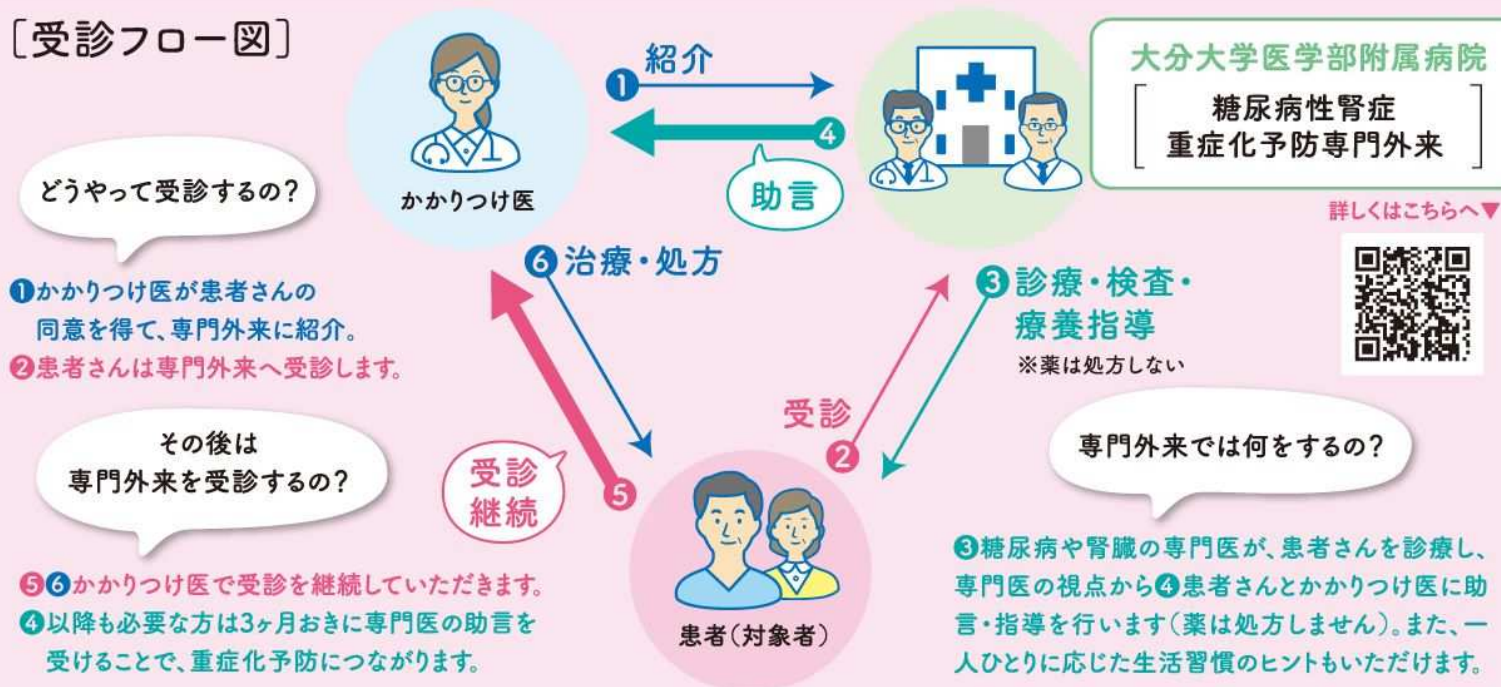
- かかりつけ医からの紹介患者に対する療養指導等
 - ・専門医・看護師・管理栄養士等多職種チームによる療養指導
 - ・専門医によるかかりつけ医への治療や薬の処方等の助言

○重症化予防支援の県内ステーション機能

- ・かかりつけ医等を対象とした研修によるスキルアップの支援
- ・市町村等（保険者）が行う患者の個別支援等への助言
- ・ホームページやマスメディア等を活用した県民への広報 など

「糖尿病性腎症重症化予防専門外来」をご存知ですか？

[受診フロー図]



—かかりつけ医と専門医が協力して糖尿病や腎臓の治療を行います—

生活習慣病の発症・重症化予防の推進【糖尿病性腎症重症化予防の推進②】

令和3年度 大分県糖尿病性腎症重症化予防推進事業

(2) 糖尿病性腎症重症の治療中断者等を医療機関への適切な受診につなげるための取組

事業名：糖尿病性腎症重症化予防未治療者等分析・受診勧奨事業【R1～継続】

目的：糖尿病性腎症の重症化リスクがあるが受診していない者や治療を中断している者に対して、医療機関への受診を勧奨し、適切な受診行動につなげる

内容：モデル事業として民間企業に委託し効果的な取組を横展開（R3モデル：竹田市、豊後高田市）

- ①データ分析による未治療者及び治療中断者の抽出
- ②関係医師会への協力依頼
- ③適切な受診行動を促す効果的な資材や電話による受診勧奨、受診意向の把握による支援

評価：これまでに9モデル自治体で実施
効果的な資材に加えて電話での受診勧奨を行うことで受診につながった。
改定版県プログラムの対象者抽出基準に基づき、更に効果的・効率的に受診勧奨できるようにする

〒000-0000
〇〇〇〇市〇〇〇町〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇〇 〇〇〇 様
0000

お問い合わせ先
サンプル

大切なお知らせ

この度は、令和2年度 特定健診を受診していただきありがとうございます。健診結果について、かかりつけ医に相談されましたか？この案内は、糖尿病の治療開始が確認できていない方にお送りしています。糖尿病を重症化させないために早期に治療を開始することがとても大切です。

この案内は、以下の項目に該当する方にお送りしました。

- 令和2年度の特定健診を受診
- 特定健診の結果により糖尿病および腎臓の機能が低下している可能性が高い
- 令和2年度 特定健診受診日以降に、糖尿病の治療が確認できていない*

*糖尿病の治療状況は、当市国民健康保険しせつ等により判断しております。
※しせつ等の更新状況により、行き違いになる場合がございます。

現在の治療状況について、同封の返信はがきでお聞かせください。

前回の健診結果で **糖尿病** や **腎機能の低下** が疑われます

項目	基準値	検査結果
空腹時血糖	99mg/dl 以下	150 *
HbA1c	5.5% 以下	6.8 *
尿蛋白	- (陰性)	3+ *
eGFR	60ml/min/1.73m ² 以上	40 *

※健診結果の糖尿病に関する一部項目を抜粋して表示しています。*は、基準値を超えている項目です。
※2020年10月時点で健診実施保険者が把握しているデータを掲載しております。

糖尿病治療の大切さ

糖尿病の治療を中断したままにすると...

血液中に必要以上の糖分が漂います

多くの糖分が血液中を長く漂うほど、**血管や神経を傷つけてしまいます。**
また、必要以上の糖分は、**免疫機能など血液の大切な働きを妨げる** こともあります。

あなたや家族の生活に大きく影響します

- 糖尿病性網膜症 → 視力喪失
- 糖尿病性腎症 → 人工透析 腎移植
- 糖尿病性神経障害 → 足の切断

このまま放っておくと

じんこうとうせき **人工透析** が必要になるかもしれません

人工透析はあなたや家族の日常生活に大きな影響を及ぼします

例えば

- 1回4時間程度の透析を週3日
- 1年間の治療費が約500万円

早めに、かかりつけ医にご相談ください

重症化すると **糖尿病性腎症** などの重大な合併症を発症します

糖尿病を放置すると全身の血管はこのように硬化していきます

- 合併症のリスク**
血管はしなやかな状態で、血液もサラサラ。
高血糖状態 血液に粘り気がでて血管が徐々に硬くもろくなる。
- 後遺症のリスク**
尿検査に陽性 細い血管が多い腎臓や眼に悪影響がおよぶ。
自覚症状が表れる 体がだるい、目が痛くなるなどの自覚症状が表れた時はすでに重症化の入口。
- 入院・手術のリスク**
腎不全や失明などの危険性が非常に高い。人工透析等が必要。

あなたはここ段階かも？

例えば、重症化が進み人工透析が必要になると...

大きな負担

- 1回4時間程度の透析を週3日
- 1年間の治療費が約500万円

血管の変化は今も進行しています

迷わず今すぐかかりつけ医にご相談ください。

生活習慣病の発症・重症化予防の推進【糖尿病性腎症重症化予防の推進③】

令和3年度 大分県糖尿病性腎症重症化予防推進事業

(3) 普及啓発

各種媒体を活用し糖尿病性腎症に関する広報を繰り返し行い、重症化予防に向けた生活習慣の改善や適切な受診行動等につなげる。

①雑誌・新聞での広告掲載及び県SNSによる広報

- ・月刊mogu2 10月号（9月20日発行）
- ・月刊セーノ！ 10月号（10月1日発行）
- ・県SNSでの投稿
- ・新聞広告（令和3年11月14日（日）大分合同新聞） ※世界糖尿病デーに合わせて掲載

②市町村のケーブルテレビを活用した啓発

糖尿病を治療中の方もしくは、血糖値が高いと言われたことがある方

次は腎臓もチェックしましょう

糖尿病など血糖値が高い状態が長期間続き、腎臓の働きが悪くなると「**糖尿病性腎症**」を発症します。

まずは **かかりつけ医** にご相談ください。

さらに重症化して、もし人工透析が必要になると...

- ・週3回、1回に要する時間は約4～5時間
- ・年間の医療費は1人あたり約500万円
- ・一生続けることに...

新規透析者の原因の約4割を、**糖尿病性腎症**が占めています

「糖尿病性腎症重症化予防専門外来」をご存知ですか？

【受診フロー図】

- 1 紹介
- 2 治療・処方
- 3 診療・検査・療養指導

大分大学医学部附属病院 糖尿病性腎症重症化予防専門外来

詳しくはこちらへ▼

QRコード

雑誌掲載広告（mogu2,セーノ!,シティ情報おいた）

新聞掲載広告（大分合同新聞 令和3年11月14日掲載分）

11月14日は世界糖尿病デー

糖尿病の治療に必要なインスリンを発見した、カナダのフレデリック・バンティング博士の誕生日にちなんで、11月14日は「世界糖尿病デー」と制定されました。

- 糖尿病は今や世界の成人人口のおよそ9.3%となる4億6千3百万人が抱える病気です。
- 大分県の糖尿病の総患者数も約34,000人（平成26年患者調査）と推計され、増加傾向にあります。

糖尿病性腎症をご存じですか？ ★糖尿病性腎症は糖尿病3大合併症のひとつです。

- 糖尿病は、血液中のブドウ糖（糖分）が慢性的に高い状態です。最初は自覚症状がなく進行し、症状が出た段階で受診した時は、重症と診断される場合も少なくありません。
- 糖尿病をそのまま放置して重症化すると、**糖尿病網膜症**、**糖尿病神経障害**、**糖尿病性腎症**などを引き起こし、最終的には視力の喪失、足の切断や人工透析を必要とする可能性があります。

3大合併症：網膜症、神経障害、腎症

腎症 → 視力の喪失、足の切断、人工透析

大分県は、人工透析患者数が人口100万あたり3,546人（全国5番目の高さ）、新規透析患者数も393.4人と全国3番目の高さで、そのうち原疾患が糖尿病性腎症が約4割を占めています。

※引用：日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の実況2019」

【人工透析が必要になると...】

- ・週3回実施、1回あたりに要する時間は約4～5時間。
- ・年間の医療費は1人あたり約500万円。
- ・生涯続けることとなります。

発症・重症化を防ぐために、以下の事項に取り組みましょう！

- 健診を毎年受診して血糖や腎機能をチェック！（異常を指摘された際は、すぐに医療機関を受診しましょう。）
- 糖尿病と診断された方は、自己判断で治療を中断せず、医療機関で適切な治療をつづけましょう。
- さらに食生活や運動など生活習慣を改善することで腎機能の悪化を予防！（血糖や血圧を良好に保つことで、透析のリスクを減らせます！）

【問合せ先】大分県福祉保健部国保医療課 【電話】097-506-2764

医療の効率的な提供の推進（医薬品の適正使用の推進）

令和3年度 大分県データヘルス推進事業

（1）ポリファーマシー対策としての服薬適正化の取組【H30～継続】

目的：医療（調剤）レセプトデータ分析結果に基づき、重複服薬対象者に対してかかりつけ薬局等での「お薬相談」を勧奨するとともに、関係医師会、薬剤師会等と連携し、医薬品の適正使用を推進
 内容：モデル事業として民間企業に委託し効果的な取組を横展開（R3モデル：大分市・竹田市・由布市）

対象者の定義：同一月内に同一成分の薬剤（内服薬）が複数の医療機関から14日以上処方されている者

- ①レセプトデータ分析結果を活用した重複多剤服薬対象者の抽出
- ②ソーシャルマーケティング手法等を活用した資材作成、対象者への「お薬相談」勧奨通知（R3.10～11月）
- ③かかりつけ医・かかりつけ薬局でのお薬相談の実施

評価：これまでに8モデル自治体で、関係医師会・薬剤師会等の協力を得て実施
 重複服薬対象者の抽出基準が明確ではなく、対象者の精査に時間を要しているため、より効率的に対象者を把握するためのデータ抽出基準等について、薬剤師等の専門職の助言を得て検討する必要がある。
 また、薬剤師会や医師会と連携し、対象者に応じた効果的な介入方法を検討する必要がある。

料金別納郵便

親展

服薬中のお薬に関する大切なお知らせです
必ず開いてお読みください

大分市役所 国保年金課 給付担当班
〒870-8504 大分市穂積町2番31号
TEL: (代表) 097-534-6111 (内線1355) / (直達) 097-537-7175

水にぬれた場合は乾かしてから開封してください

【医師・薬剤師 確認欄】

服用日 処方医療機関名 処方薬剤名	医薬品名	用法・用量	日数	重複 処方
2021/7/30	トランサミン錠 250mg	1日3回食後服用	14	○
○耳鼻科クリニック	ムコダイン錠 500mg	1日3回食後服用	14	○
○調剤薬局				
2021/7/23	カルボシステイン錠 500mg(トワフ)	1日3回食後服用	4	
○クリニック	トスフロキサシントシル 酸塩錠(50mg(TCK))	1日3回食後服用	4	
Y調剤	ポンタールカプセル 250mg	1日3回食後服用	4	
	レバミピド錠 100mg(NP)	1日3回食後服用	4	
2021/7/8	アンブロソール塩酸塩 体液(0.45mg(ニプロ))	1日1回朝食後 服用	30	
A医院	カルボシステイン錠 500mg(JG)	1日1回朝食後 服用	30	○
X薬局	センソライド錠 12mg	1日1回朝食後 服用	30	
	バルサルタン錠 80mg(ニプロ)	1日1回朝食後 服用	30	
	ビタ/スタチン カルシウム錠(2mg(テバ))	1日1回朝食後 服用	30	
	トランサミン錠 500mg	1日3回食後 服用	14	○

お薬について
こんな心当たりはありませんか…?

- 服用している薬の数・種類が多い
- 複数の医療機関・薬局から薬の処方を受けている
- 薬を飲み切れず、家に余りがある

お薬相談 をご利用ください

お薬相談ご利用手順

次回受診予定 月 日

持ち物 本通知/保険証
お手持ちのお薬手帳すべて

自己判断による服薬中断や減薬は、副作用や症状の悪化につながる恐れがあり、危険です。必ず医師・薬剤師に相談してください。

薬を適切に管理していくために

- 受診の際は、お薬手帳を必ず持参し処方薬を記載してもら
- お薬手帳は1冊にまとめる
- 複数の医療機関にかかっている場合は、医師や薬剤師に受診の都度お薬手帳を提示する

水にぬれた場合は乾かしてから開封してください

お薬相談のお願い

この通知は、2021年6月から8月の間に
**複数の医療機関から同じ成分のお薬が
重ねて処方されていると思われる方**
にお送りしております。

薬を重複して服用する・処方されることで起こりうること

- 副作用を引き起こしやすくなる
- 薬が効き過ぎてしまうことがある
- 必要以上に医療費がかかる

次回受診時に、
処方された病院及びお薬をもらった薬局で
この通知をみせ、
薬の処方内容の確認・相談 をしましょう。

医師・薬剤師が
処方状況を確認し、
必要に応じて
処方内容を変更します。

- 同じ薬効の薬を飲んでいないか
- 必要以上の薬を飲んでいないか
- 薬の飲み合わせに問題はないか

由布市では、被保険者の皆様に
適切に服薬をしていただくために、大分県と協働して
薬局等での **お薬相談** を勧奨しています。

生活習慣病の発症・重症化予防の推進（普及啓発）

令和3年度 大分県データヘルス推進事業

内容：各種広報活動を展開し、特定健診受診及び生活習慣病重症化予防について普及啓発を行う。
各種広報物による広報活動の実施（11月～3月）

（Web）LPサイト開設、Youtube広告（29秒、6秒バンパー）、県SNS発信
（映像）テレビCM（県内3局計135本放送）、デジタルサイネージ（大分駅等）
（紙媒体）ポスター（JR・大分バス・大分交通車内、自治体等）、
大分合同新聞広告（2回）、雑誌mogu2広告（2回）等

評価：多様な媒体の活用により、県民からの反応等から認知の効果はあったと考える
各医療保険者等と連携し、より効果的な啓発方法を検討する必要がある



二次元コード
(3/31まで掲載)

・テレビCM



・大分駅デジタルサイネージ



・特設Webサイト



・ポスター（大分交通、大分バス）

